

つぎのミライは、
あなたの街から
はじまる。

NTT東日本グループ

2026年4月24日

株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー

登別市下水処理場施設(若山浄化センター)へ PPA を活用した再エネ電力供給開始

株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:池田 敬、以下「NTT-ME」)は株式会社 NJS(本社:東京都港区、代表取締役社長:村上 雅亮、以下「NJS」)とともに、共同事業体(NJS・ME 共同事業体)として北海道登別市が推進するゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みの一環として、登別市若山浄化センターにおいて PPA 方式による太陽光発電設備を導入し、再生可能エネルギー由来の電力(以下、再エネ電力)の供給を開始します。なお、本事業は野立て形式による再エネ電力提供となり、本形式を用いた取り組みは NTT-ME として初となります。

本事業は、登別市若山浄化センターの敷地内に太陽光発電設備を設置し、発電した電力を全量自家消費するものです。これにより、初期投資を伴わずに再生可能エネルギーを導入し、温室効果ガス排出削減に貢献します。

また、野立て形式※1での設置とすることで、一般的な陸屋根形式※2と比較し、より大規模な発電設備の導入が可能となることから、脱炭素に向けた取り組みを一層推進することが可能となります。

※1 野立て形式は、建物の屋根ではなく、広い敷地や地面に直接太陽光パネルを設置する方式です。これにより、規模の大きな発電設備を導入しやすく、土地の有効活用や発電効率の向上が期待できます。

※2 陸屋根形式は、建物の平らな屋根(陸屋根)に太陽光パネルを設置する方式です。建物の構造を活かして、省スペースで再生可能エネルギーを導入できる点が特徴ですが、設置可能な面積が限られる場合があります。

■ 導入設備の概要

事業者	NJS・ME 共同事業体(施工:NTT-ME)
設置場所	登別市若山浄化センター内
太陽光発電設備容量	約 590.4 kW
年間発電量(見込み)	800,000kWh 程度
年間 CO ₂ 削減効果(見込み)	310t 程度

発電した電力は全量を若山浄化センターで自家消費し、売電は行いません。



■ 周辺環境への配慮

本事業は、発電した電気を売電せず、若山浄化センターで使用する『市民のための再生可能エネルギー事業』です。工事にあたっては、景観や周辺環境に配慮し設置するとともに、20年間にわたり安全・安定した運用を行います。

■ PPA について

PPA とは、Power Purchase Agreement(電力購入契約)の略で、発電事業者が設置した発電設備により発電された電力を、需要家が長期契約に基づき購入する仕組みです。NTT-ME が提供する公共施設向け PPA は、

- 初期費用不要での再エネ導入
- 脱炭素と防災・レジリエンス強化の同時実現
- 長期にわたる保守・監視を含む安心・安定の体制

を特長とし、地域に根差したエンジニアリング力を活かしたソリューション提供を行います。

■株式会社エヌ・ティ・ティエムイーについて

NTT-ME は「これからのつなぐを創る」をミッションに掲げた、地域に根差した『総合エンジニアリング企業』です。

長年にわたり通信インフラの提供で培った確かな技術力と現場力を基盤に、End-Endトータルでの ICT 環境の構築やサポート、DX ソリューションの提供、更には社会インフラ・環境エネルギー分野まで、幅広い事業を提供し、地域社会とともに課題解決と価値創造を実現していきます。

■お客さまからのお問い合わせ先

PPA に関するお問い合わせ・ご関心をお持ちの方のご連絡をお待ちしております。
以下フォームよりお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせフォーム | NTT-ME

<https://www.ntt-me.co.jp/contact/?q=8>

本リリースは、NTT グループが展開する GX ソリューションブランド「NTT G×Inno(エヌティティ ジーノ)」

※3の取り組みの1つです。



※3「NTT G×Inno」は、NTT 株式会社の登録商標です。

「NTT GX(Green Transformation)× Innovation」の略称であり、社会へのソリューション提供を通じて GX 分野で Innovation(変革)をおこし、2050 年カーボンニュートラルの実現に貢献していく取り組みです。

以上

本件に関する報道機関のお問い合わせ先

株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー
経営企画部 経営企画部門 広報担当
contact-form-nttme-ml@east.ntt.co.jp